

『平成三十年度上半期加入・支払実績まとまる』!
 加入金額は前年同期比5%増加、共済金は一億七千万円増で推移

【加入実績】

平成三十年度上半期の加入実績は、漁業共済・地域共済の共済金額合計で、七百三十四億五千万円となり、前年同期に対して、三十四億九千万円増加しました。

その主な内訳として、漁獲共済では、漁船漁業で小型合併（松前さくら・福島吉岡漁協）、一般刺し網（歯舞漁協）や、いか釣り（福島吉岡漁協）の新規加入並びに、がんばる漁業復興支援事業の終了等に伴うさんま棒受網（落石・歯舞漁協）の復活加入等による増加があり、定置漁業でも、春さけ定置（広尾漁協）、大型定置（東しゃこたん漁協）、小型定置（網走・北るもい漁協）の新規加入や、秋さけ定置で契約割合の引上げが図られたこと等により増加し、全体では二十三億一千万円増加しました。

特定養殖共済では、ほたて貝等の価格高による共済限度額の上昇、契約割合の引上げ等により、六億四千万円増加しました。

また、漁業施設共済では、昨年度導入された割引制度を活用し、全道でさけ定置漁具の普及推進に取組んだ結果、北見地区で新規加入（ウトロ・斜里第一漁協）があり、五億四千万円増加しました。

なお、積立ぶらすは、クロマグロ強度資源管理タイプの特例措置適用により、定置漁業を中心に前年同期に比べると十二億九千万円増加し、漁業者積立申込金額で四十一億二千万円となりました。

平成30年度 ぎょさい・積立ぶらす 引受実績表(9月末)

金額単位：億円

区 分	項 目	本年度実績		前年同期実績		同期対比増減		
		共済金額	積立金額	共済金額	積立金額	共済金額	積立金額	
漁業共済	漁 獲	1号漁業	—	—	—	—	—	
		漁船漁業	181.8	5.5	167.7	4.6	14.1	0.9
		定置漁業	420.1	31.3	411.1	20.2	9.0	11.1
		計	601.9	36.8	578.8	24.8	23.1	12.0
	特定養殖	藻 類	—	—	—	—	—	—
		貝 類 等	77.0	4.4	70.6	3.5	6.4	0.9
		計	77.0	4.4	70.6	3.5	6.4	0.9
	漁業施設	養殖施設	2.7	/	2.7	/	0.0	/
		定 置 網	47.2	/	41.8	/	5.4	/
		計	49.9	/	44.5	/	5.4	/
合 計		728.8	41.2	693.9	28.3	34.9	12.9	
地域共済(休漁補償)		5.7	/	5.7	/	0.0	/	
総 合 計		734.5	41.2	699.6	28.3	34.9	12.9	

(注) 共済金額は漁業共済、積立金額は積立ぶらすの漁業者積立申込金額である。

【加入速報】

十月の責任開始で室蘭・いぶり中央漁協のすけとうだら刺し網（5トン未満）が新規加入となりました。関係各位のご理解・ご協力に感謝を申し上げます。

年明けには、一号漁業のこんぶをとる漁業や各種漁船漁業が加入時期を迎えますが、ぎょさいと積立ぷらすとのセット加入を引き続き推進して参りますので、宜しくお願い申し上げます。

【支払実績】

本年度の上半期の共済金支払は、漁業共済で十二億五百万円の支払となりました。

その主な内容を前年同期と比べると、漁獲共済では、一号漁業のこんぶをとる漁業で四千四百万円増加し一億四千四百万円、漁船漁業のほたて貝桁網、すけとうだら刺し網や、一般底びき網漁業等で二億九千三百万円増加し九億七千八百万円となり、定置漁業の小型定置等では、三千五百万円減少し六千九百万円の支払となりました。

特定養殖共済では、藻類・貝類等の合計で一千九百万円減少し八百万円、漁業施設共済では、養殖施設で四百万円減少し六百万円の支払となりました。

また、積立ぷらすの払戻補てん金（漁業者十国）は、十九億一千八百万円となり、前年同期に比べると、漁獲共済では、漁船漁業等で四億一千万円増加し、特定養殖では藻類等で三千三百万円減少したことにより、全体で三億七千七百万円増加しました。

平成30年度 ぎょさい・積立ぷらす 支払実績表(9月末)

金額単位：百万円

区分	項目	本年度支払(払戻)		前年同期支払(払戻)		同期対比増減		
		共済金	積立払戻	共済金	積立払戻	共済金	積立払戻	
漁業共済	漁獲	1号漁業	144	490	100	534	44	△ 44
		漁船漁業	978	1,335	685	866	293	469
		定置漁業	69	73	104	88	△ 35	△ 15
		計	1,191	1,898	889	1,488	302	410
	特定養殖	藻類	1	11	13	41	△ 12	△ 30
		貝類等	7	9	14	12	△ 7	△ 3
		計	8	20	27	53	△ 19	△ 33
	漁業施設	養殖施設	6		10		△ 4	
		定置網	—		—		0	
		計	6		10		△ 4	
合計		1,205	1,918	926	1,541	279	377	
地域共済(休漁補償)		—		4		△ 4		
総合計		1,205	1,918	930	1,541	275	377	

(注)共済金は漁業共済、積立払戻は積立ぷらすの払戻補てん金(漁業者十国)である。

『今後の共済金・積立ぶらす支払見込』

共済金・積立ぶらす合わせて百八十億円を超える支払を予定

本年十二月以降に見込まれる主要漁業の「天然こんぶ」、「秋さけ定置」、「ほたて貝桁網」、「さんま棒受網」における最大支払額は共済金の合計で約七十六億円、積立ぶらすの合計で約百九億円が見込まれております。

【天然こんぶ】

漁場環境の変化から道南のこんぶの繁茂状況が極端に悪かったこと等により、生産量が減産となる見込みです。

本年九月末の販売分に未販売金額を聞取り試算したところ、函館地区を中心に共済金四億円、積立ぶらす六億円、合計で十億円の支払が見込まれています。

【秋さけ定置】

台風二十一号及び、北海道胆振東部地震による網入れ遅れの影響や、来遊不振、魚体の小型化により漁獲数量は減

少し、釧路・根室・北見地区を中心に漁獲共済で三十七億円、積立ぶらすで八十一億円、合計で一百十八億円の支払が見込まれています。

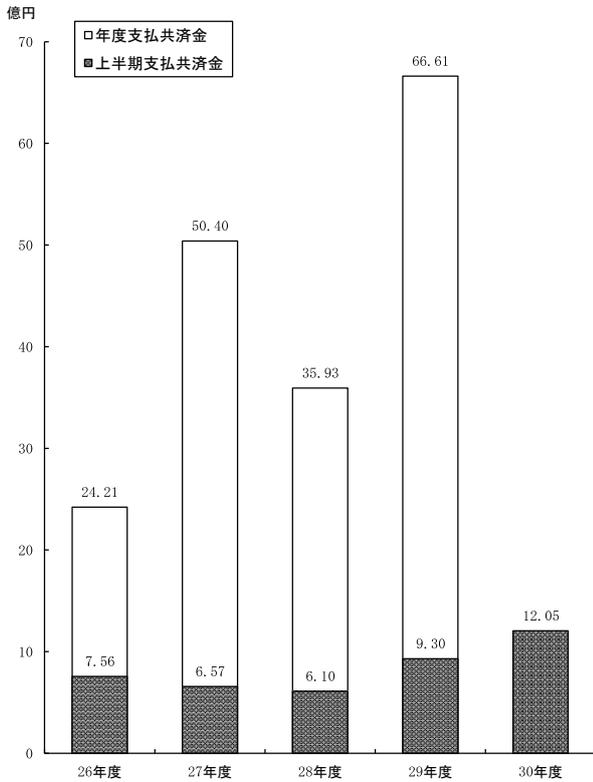
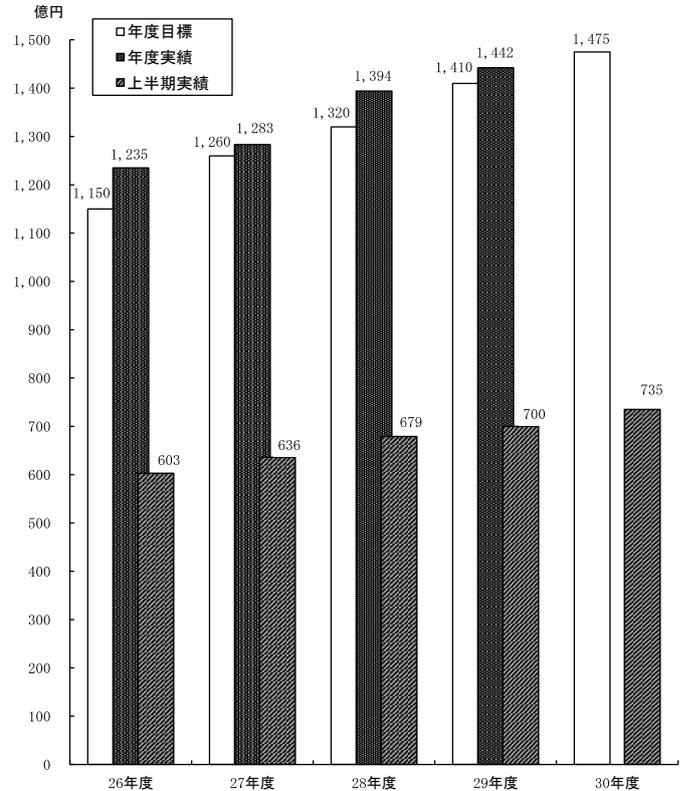
【ほたて貝桁網】

時化による斃死等により北見地区を中心に共済金三十億円、積立ぶらすで十九億円、合計で五十億円の支払が見込まれています。

【さんま棒受網】

極端な不漁であった昨年の漁獲量は上回っているものの、水揚げは低水準であり、漁獲共済で五億円、積立ぶらすで三億円、合計で八億円の支払が見込まれています。

当組合では、共済金・積立ぶらすの早期支払に向けて、適切かつ迅速な処理に取り組んでおりますので、手続きに必要な書類の手配など関係各位のご協力を宜しくお願い申し上げます。


上半期 支払共済金の推移

上半期 加入実績の推移


ホームページのスクリーンショット。ナビゲーションメニューには「ホーム」「ぎょさい制度」「漁業収入安定対策」「パンフレット・動画」「お問い合わせ一覧」「採用情報」があります。メインコンテンツには「全国漁業共済組合の情報」のバナーと「ピックアップ」欄があり、「漁業共済の現況 (30年度版)」のPDFダウンロードリンクが示されています。

<http://www.gyosai.or.jp/index.html>

平成三十年四月から、漁済連のホームページに全国の共済組合の情報が掲載されるようになりました。

共済団体のホームページ開設